

神の国の奥義(20)

=人となられた神⑤=

御言葉:ヨハネ3:1-21

- ① ニコデモとの対話(1-2節):パリサイ派の指導者、夜イエスの元に来る
- ② イエスの解答:上から生まれること(3節)→ニコデモは徴を指摘したが、イエスは誕生を答えた
- ③ ニコデモの問い(4-10節):肉と霊の相違(特に6節)→神が人となった重大な意義=肉なる者と霊なる存在を結びつける(cf.創世記6:3)
- ④ イエスの証:われわれ(三にして一なる神)の証(11-12節)→1ヨハネ5:7&8の間に「天で証しする者が三人いる。すなわち、父とことばと聖なる霊である。そしてこの三者は一致する。また地上で証しする者が三人いる。すなわち」と続く(Commma Yohaneum)。
- ⑤ 人の子の使命:蛇として挙げられる(13-15節)→青銅の蛇(肉の様を取った神;ローマ8:3;2コリント5:21)
- ⑥ 信じるとは eis=into、さらに主と結合されること(ローマ6:5)「一体となる」は、過程(process)のことであり、planted + growing: 立場と成長の過程を言う(Vincent)
- ⑦ 永遠のいのちを得る領域(15-20節)→彼のうち(eis)にあって(=in Christ)
- ⑧ 業がなされる領域(21節)→神のうち(en)
- ⑨ 私たちの誕生も、その後の業もすべては人となられたキリスト・イエスのうちにおいて→肉と霊との分離(ヘブル4:12)

■暗証聖句

- 3:3 イエスは答えて言われた。「はっきり言うておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」
- 3:5 イエスはお答えになった。「はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。」
- 3:6 肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。
- 3:11 はっきり言うておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証しているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。
- 3:14 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。
- 3:15 それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。
- 3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。
- 3:21 しかし、真理を行う者は光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたということが、明らかになるために。」